

謹賀新年

商工会議所会員数(12月1日現在)

総会員数 1,364 事業所
個人企業 603 事業所
法人企業 761 事業所

市の人口と世帯(12月1日現在)

総人口 123,089 人
男 59,635 人
女 63,454 人
世帯数 62,904 戸

Contents

- ◆ 年頭のごあいさつ P.2~3
- ◆ 第144回 常議員会 P.4~6
- ◆ まちなか音楽会&イルミネーション点灯式 P.6

年頭のごあいさつ



霧島商工会議所会頭 鎌田善政

皆様、新年明けましておめでと
うございます。2025年の希望
に満ちた輝かしい新春をお迎えに
なされたことと、お慶び申し上げ
ます。

平素から、商工会議所事業活動
において、多大なるご理解、ご協
力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、コロナ禍からの
社会経済活動の正常化が進み、地
域経済も緩やかに回復しつつある
年だったのではなかったかと思
います。

世界情勢をみますと、ロシアの

ウクライナ侵攻の長期化、中東情
勢、さらに、世界的に選挙の年
であったことも相俟って、先を見通
すことが一層困難になっており、
我が国経済を取り巻く環境は、ま
だまだ先行き不透明な状況が続
いております。

県内の景況は、消費関連が堅調
となつているものの、一方では、
生産活動は横ばい、投資関連、雇
用情勢がやや弱含み、観光関連が
一部で弱含み、畜産関連が弱含
んでいます。足元では、物価上昇の
影響がみられるなど、全体として

回復の勢いがやや鈍化しつつあり
ます。

また、中小企業を取り巻く環境
も、原材料価格の高騰や最低賃金
引上げによる人件費増加などコス
ト負担増が幅広い業種で発生し、
多くの中小企業が収益圧迫への懸
念が高まつており、コスト増加分
の適正な価格転嫁や取引適正化も
早急に進めていく必要があります。

霧島市におきましては、新型コ
ロナウイルス感染症収束後を見据
えた経済対策や、鹿児島空港を活
かした観光や物流促進及び治水対
策など、将来の霧島市にとって重
要な施策へ皆様方と連携を深め、
県央の多機能都市として発展し続
けられるよう、更に大きく努力し
ていく必要があると考えておりま
す。

このような中、私ども商工会議

所といたしましては、昨年に引続
き中小企業のデジタル化による生
産性向上、ビジネス変革、事業再
構築、創業及び事業継承・再生へ
の挑戦を全力で支援し、霧島市等
行政とも連携しながら、事業継続
や経営改善のための各種事業を
実施するなど、消費喚起による地域
経済活性化を図るために取組ん
でまいります。

また、昨年は「第60回霧島国分
夏まつり」の開催で多くの市民に
参加していただき、あらためて霧
島市民の底力を感じることで
ました。更には、関係団体とも
に実施した霧島ふるさと祭により、
まちや地域の活性化につながるイ
ベントとなり、多くの市民の皆様
にも喜んでいただけたのではない
かと思えます。今後とも、会員の
皆様方のお力をお借りしながら、

これまでも増して地域を盛り上
げてまいりたいと考えております
ので、商工会議所の事業運営に
対する一層のご理解とご協力を賜
りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今年の干支
は「巳」であり、また「乙巳(き
のとみ)」でもあります。「乙」は
困難があっても紆余曲折しながら
進むことを表し、「巳」は、神様の
使いとして大切にされてきた動物
で、脱皮を繰り返すことから不老
不死のシンボルとされており、再
生や変化を繰り返しながら柔軟に
発展していく年になると言われて
います。本年が将来に向かって、
夢のある素晴らしい年となります
ようご祈念申し上げます、新年
の挨拶といたします。



霧島市長 中重真一

明けましておめでとうございま
す。皆様におかれましては、健や
かな新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。また、鎌田会頭を

はじめ、会員、職員の皆様には、
平素より本市の商工・観光業の振
興のみならず、市政全般にわたり、

多大なご協力を賜り、深く感謝申
し上げます。

さて、コロナ禍を乗り越え、様々
ないイベントが開催されるなど賑わ
いや人の動きが戻っております。
昨年3月には、JR霧島神宮駅の
駅舎のリニューアルや、霧島の国

立公園指定から90周年を迎えたこ
とに加えて、鹿児島空港の国際定
期便については、香港線、ソウル線、
台北線、上海線が再開され、コロ
ナ禍前に運行していた路線が4年
半ぶりに復活しました。これらを
好機と捉え、本市の魅力を大いに
アピールするとともに、7月には、
鹿児島空港から霧島神宮、霧島神
宮駅などへ乗り換えなしでアクセス
できる「霧島神宮アクセスバス」
の実証運行を開始するなど、イン
バウンドを含む観光客の利便性向
上と誘客促進に取り組み、本市へ

の経済効果に期待をしているとこ
ろです。

その一方で、エネルギーや食料
品価格等の高騰、人手不足など、
事業者の皆様を取り巻く環境は未
だ厳しい状況が続いています。そ
のような中、本市独自の支援策と
して、中小企業、バス、タクシー、
トラック運送事業者や商店街等を
対象とした「エネルギー等価格高
騰対策支援事業給付金事業」、事業
者の人材確保を支援する「人材確
保支援事業」、ゼロゼロ融資の返済
本格化による負担軽減を図るため

の「霧島市新型コロナウイルス感
染症関連制度資金に係る商工業者
融資支援事業」等に取り組んでま
いりました。今後も引き続き、国
や県の経済対策の動向を注視しつ
つ、市内中小企業者の持続的な経
営安定化を図ってまいります。

また、企業誘致と雇用の促進に
ついて、昨年は6社との立地協定
を締結し、本市発足後の立地協定
件数は101件となりました。併
せて「学生就職支援プロジェクト」
として、市内の誘致企業等の協力
の下、高校生を対象に工場等の見

学会を実施するなど、地元企業への理解を深め、関心を持ってもらうことで、地元就職率の向上や雇用の安定的な確保にも努めています。

さらに、懸念される人材の維持・確保に官民一体となって対応するため、本市と霧島商工会議所、霧島市商工会等の関係機関で構成する「霧島市地域雇用創造協議会」を設置し、厚生労働省の「地域雇

用活性化推進事業」に提案していた事業構想が採択されました。10月には、同省から同協議会に対して、その事業実施が委託されるとともに、総会において、事業計画が承認されました。今後、本協議会において、製造業や観光・空港関連産業、医療・福祉、建設などを重点分野として、地域の特性を生かした「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保に向

けた取組を推進していくこととなります。引き続き、関係機関と連携を図りながら、積極的な企業誘致活動を展開し、市内における雇用対策の推進や新規卒者の地元就職率の向上に努めるとともに、中小企業を中心に商工業者全体の振興を図る施策を推進してまいります。

霧島商工会議所の皆様には、市内商工業者の支援はもちろんのこ

と、市全体を盛り上げる「霧島国分夏まつり」や「霧島ふるさと祭」の開催等、地域の活性化にもご尽力いただいております。特に昨年は、60回の節目となる記念すべき夏まつりを盛大に開催され、市内外からの多くの来場者に楽しんでいただきました。この場を借りて、改めて感謝とお礼を申し上げますとともに、今後も商工業振興及び地域発展のため、市の施策推進に



日本商工会議所会頭 小林 健

―新たな成長への飛躍の年に―

明けましておめでとうございませす。

2025年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は内外ともに不透明かつ混乱の度合いが深まった1年でした。世界ではロシアによるウクライナ侵略の長期化に加え、中東情勢の悪化など、地政学的リスクが拡大しました。また、経済面では米国経済が堅調さを維持する一方で、中国経済の停滞が懸念される年になりました。加えて、昨年は主要国で選挙が相次ぎ、米国では4年ぶりにトランプ氏が次期大統領に就任する結果となり、保護主義や自国第一主義の台頭に対する懸念が再び高まっています。

国内に目を転じますと、1月の能登半島地震や9月の奥能登豪雨といった痛ましい災害に見舞われた1年でありました。また、秋の衆院選では与党が30年ぶりに過半数を大きく下回り、少数与党へ転じるなど政治的変動が生じる一方で、経済では、歴史的円安や物価高が続く中、設備投資は好調で日経平均株価も史上初の4万円台を記録しました。日本銀行はマイナ

ス金利の解除に踏み切るなど、金融政策にも大きな転換点を訪れました。特に昨年は「賃上げ」をテーマとした1年でもあり、中小企業の賃上げ率も3%台半ばに達するなど、物価と賃金の好循環に向けた大きな一歩を踏み出した1年であったと総括できます。企業の自

助努力とともに、官民を挙げた価格転嫁の取り組みが効果を示した

結果でありますが、賃上げを行った中小企業の約6割が収益改善を伴わない中で、人手確保のための防衛的賃上げを迫られたことも事実です。賃上げのモメンタムをいかに持続可能な形に転換するかが、停滞から成長のステージに向けた今年の大きな課題となります。

（成長の両輪は中小企業の強化と地方創生）

日本は経済立国であり、経済成長なくして将来はありません。デフレ脱却を確実にし、成長型経済への転換を進めるためには、GDPの6割を占める個人消費の拡大が不可欠です。その実現は、企業数の99.7%、就業人口の約7割、

地方創生」です。地方の発展なくして日本の再生はありません。政府、地方自治体、民間が三位一体となり、地域への人材・投資の呼び込みや「稼ぐ産業」の育成、インフラ整備などを通じて地域の経済循環を強化し、地域の強みと潜在力、いわゆる「地域力」を引き上げるべく全力を傾ける年にしなければなりません。地域の経済インフラを担う中小企業および小規模事業者の強化は、地方創生の取

（大阪・関西万博の成功を大きな成長の弾みに）

り組みとも表裏一体です。政府・地方自治体には両者を成長の両輪と位置づけ、地域ごとの特性を踏まえた成長戦略の策定と実行を強く求めたいと思いますし、われわれ全国515の商工会議所も地域経済の再生・活性化の先導役として、さらに活動を強化できる1年にしなくてはなりません。

本年4月には大阪・関西万博が開幕いたします。停滞から成長への転換点にあるタイミングでの開催は、象徴的かつ歓迎すべきことでもあります。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする20年ぶりの万博開催が、新たな未来をつくる起爆剤となるよう、全国の商工会議所一丸となって盛り上げてまいります。わが国全体の未来に向けて成長に弾みのつく万博となることを切に願ひ、皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

以上

第144回 常議員会

11月22日(金)霧島商工会議所にて、第144回常議員会が開催されました。会員加入について1つの議案が上程され、原案どおり可決承認されました。

審議事項

- ・議案第586号 霧島商工会議所会員加入について
原案どおり可決承認されました。

新規会員のご紹介 (希望事業所のみ掲載)

期間：令和6年9月19日～11月5日

事業所名	代表者	営業内容	所在地
(株)コネクト不動産	池田 美沙	不動産業	国分清水1-14-31
Origin Base	磯脇 一基	電動キックボードレンタル	隼人町真孝1577-7 エリカの森101
(株)信和貿易	菊地 強	リサイクル業	国分川内1005-1
(同)グリーンズK	楠元 啓祐	原木椎茸栽培	国分湊1061
ジョイフル国分清水店	前迫 琢摩	飲食店	国分清水1-407-2
炭火もも焼き炎摩	伊知地 智	飲食店	国分中央3-25-3
ふつうのいざかや悠々～	宮田 悠喜	飲食店	国分中央3-23-22
虎舌工業	樋高 虎次郎	解体工事業	国分広瀬1-11-19-301
ジョイフル国分店	紙屋 誠	飲食店	国分湊469-4

令和6年9月18日現在	会員数	1, 365	事業所	(法人760 個人605)
	加入	9	事業所	(法人3 個人6)
	脱退	4	事業所	(法人2 個人2)
令和6年11月5日現在	会員数	1, 370	事業所	(法人761 個人609)

部会・委員会報告

①建設建材部会

①視察研修の実施
期 日 令和6年11月7日(木)～8日(金)
場 所 大阪府・株式会社KMユナイテッド、公益社団法人2025年日本博覧会協会他

内 容

人材不足という課題に対して先進企業視察を実施しました。視察した株式会社KMユナイテッドは直接利益に繋がらない現場業務(書類業務等)を請負うサービスを提供しており、新たな人材活用サービスとしても興味深い内容でした。また、最先端技術の視察として大阪万博会場(眺望)や、鹿児島県連がK I T T E大阪に出店している「かごしま屋」等についても視察しました。



かごしま屋視察



企業視察の様子

②工業部会

②第32回情報交換会の開催
期 日 令和6年10月15日(火) 15時00分～16時30分
場 所 京セラ株式会社鹿児島国分工場、さきりしまR&Dセンター

内 容

会社概要説明後、施設内を見学し意見交換を行いました。さきりしまR&Dセンターは、CAMPをコンセプトに分析センサー、ものづくり研究所、生産技術部門が集約された4階建ての施設となっています。動線が単調にならないように、机や椅子の形・配置など雰囲気やフロアごとに異なり、働きやすく、楽しんで研究開発に取り組める環境として、居心地の良い空間となっていました。

③商業部会・庶務部会

③ふるさと納税先進地視察研修
期 日 令和6年10月30日(水) 8時30分～16時30分
場 所 南さつま市

内 容

南さつま市は、ふるさと納税収入が約63億円に達し、観光協会や振興協議会を通じた産業振興により、地元経済を支える実績を上げています。特に、地域産品の開発と地場産業の支援が強化され、ふるさと納税返礼品には肉類や地元特産品が人気を集めています。

視察では、寄付額拡大の背景や組織運営の工夫など多くの学びが得られました。今後、霧島市のふるさと納税推進にも参考にし、地域産業の振興を図っていきます。



(イ)ふるさと納税勉強会

期 日 令和6年11月18日(月)
10時00分～11時30分
場 所 霧島商工会議所第4研
修室

内 容 霧島市商工振興課の方々には霧島市のふるさと納税の寄附額の推移や取扱商品などについてご説明を頂きました。
霧島市の現状や地域資源の特色など、霧島市のふるさと納税制度への向き合い方など多くの学びがあり、参加者からは多くの質問があるなど関心の高さがうかがえました。



④ 福利厚生委員会
ア 健康診断事業

期 日 令和6年9月30日(月)～
10月4日(金)

場 所 霧島商工会議所会館
内 容 会員事業所を対象とした健康診断事業を実施し、5日間を通して136事業所の886名が受診しました。
毎年多くの会員事業所から受診をいただいている事業であり、今後もニーズに応じて事業に取り組みます。



その他

① 女性部

11月15日(金)、ホテル京セラにおいて霧島が主管となり、鹿児島県下商工会議所女性会合同研修会 in 霧島を開催しました。
県内各地女性会から総勢約140名が参加し、講師に藤山人工授精所藤山粹氏と鹿児島工業高等専門学校校長上田悦子氏を招き講話いただき、研修会後



② 青年部

は、交流会も開催し盛大に行われました。
10月9日(水)、霧島商工会議所にて令和6年度第1回霧島商工会議所青年部臨時総会を行い、令和7年度役員選任の件についての議案が承認されました。令和7年度会長は牧野寛斎君、副会長に小宮路幸君、小松真也君、菊谷友宏君となりました。

③ きりしまフイリングマルシェ

期 日 令和6年10月13日(日)
場 所 霧島市民会館前広場
内 容 伴走型小規模事業者支援の一環として、令和3年以降のきりしま創業スクール受講生を中心に、創業5年以内の飲食、体験型イベント全19店舗にてマルシェを開催しました。
2,000人以上が来場し、顧客との対話を通じて、各事業所の販売戦略の見直しに活かしました。



イベントの様子

④ きりしま創業スクール

霧島市国分管内の中小企業者の創業支援策として、準備から創業に至るまでに必要な具体的な知識等を習得するセミナーを企



セミナー受講者 集合写真



セミナーの様子



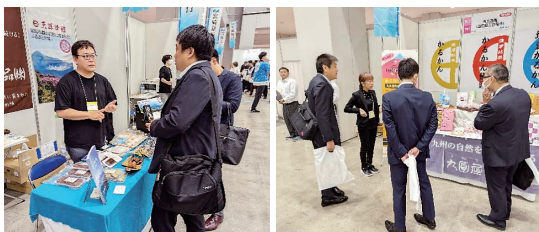
ビジネスプラン発表

画し、市報、リビング新聞、会議所会報にて募集を行い、24名の参加者で、令和6年10月9日(水)から9日間、約1カ月あまり、1日3時間合計27時間カリキュラムで、実務実践をテーマに専門家による創業スクールを実施しました。
今までの事例を踏まえた講話を取入れ、創業の準備段階から資金計画、現在の事業構想を事業計画シートへ落とし込むなど、ビジネスプラン作成支援を行いました。

も真剣に取り組んでいる姿が好印象でした。
今回のスクール参加者は、女性14名の参加と女性比率が高く、24名全員に修了証を発行しました。

⑤ 「第19回地方銀行フードセレクション2024」出展

期 間 令和6年10月29日(火)～
30日(水)
場 所 東京ビッグサイト
西展示場1-2ホール
内 容 伴走型小規模事業者支援の一環として、全国地方銀行52行主催の商談会が開催され、全国から827先、当所から「迫田食品株式会社」、「有限会社九面屋」「すし魯くら」の3社が参加しました。
2日間で10,373人が来場され、バイヤーに自社商品を試飲・試食から売り込みを行い、商談へつなげてい



商談の様子

⑥霧島ふるさと祭実行委員会

(当商議所、霧島市商工会、あいら農協同組合、霧島市観光協会、霧島市特産品協会)

当商工会議所が事務局を務め、11月9日(土)・10日(日)の2日間、「霧島ふるさと祭2024」をお祭り広場駐車場で開催しました。海津市商工会をはじめ、地元企業や団体など計66店舗が出展し、多彩な商品や体験イベントが並びました。

2日間で延べ12,000人の来場者が集い、賑やかな交流の場となりました。地域の特産品販売やステイジイベントも好評で、来場者から「楽しかった」との声を多くいただきました。

本催事を通じて地域活性化と交流の促進を図ることができ、来年度以降もさらに充実した内容での開催を目指します。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



⑦「中小企業及び小規模事業者等の支援に関するプレミアム付きデジタル地域振興券発行についての要望書」の提出

地域経済の活性化に資する企業支援や今後を見据えた地域DXの促進など、地域の発展に向けた更なる取り組みが必要

であると考え、プレミアム分の付いたデジタル商品券の発行、キャッシュレス決済による事務効率の向上と地域DXの促進、事業者寄り添った決裁金の支払いに対応できるよう、霧島市内の総合経済団体である霧島商工会議所と霧島市商工会と共同で、令和6年10月8日に霧島市に対して要望書を提出しました。

⑧2025霧島市新春賀詞懇談会

(霧島商工会議所・霧島市商工会 合同開催)

(ア)令和7年1月10日(金)

17時30分～受付
18時00分～開会

(イ)ホテル京セラ

本館地下2階 天雅の間

(ウ)11月1日発行号の商工会議所会報にチラシを折込み、参加申込の受付を開始しました。

(エ)霧島商工会議所と霧島市商工会の合同開催となっております。定員を450名としています。

(オ)チケットは、来賓分を除く当商議所の販売枚数が207枚、商工会の販売枚数が205枚となっており、商議所の状況は、11月21日現在、139枚の申込・販売があります。



まちなか音楽会 & イルミネーション点灯式



令和6年11月22日(金)、17時30分から「まちなか音楽会&イルミネーション点灯式」が国分パークプラザイベント広場にて、多数の参加があり開催されました。

「まちなか音楽会」では、ヤマハ音楽教室の子供達が日頃の練習の成果を披露し、その後、霧島商工会議所、鎌田会頭のあいさつ、新町霧島副市長、仮屋霧島市議会議長の来賓あいさつ後に、国分パークプラザの壁面にてイルミネーションが点灯しました。

市内の商工業の活性化と賑わい創出の一環として実施しており、来場者には少し早いクリスマスプレゼントを配布し、盛況に行われました。(イルミネーションは、令和7年1月中旬まで点灯)



日本商工会議所青年部第44回全国大会ほとめきFUKUOKAくるめ大会

2025年2月12日～16日に、福岡県久留米市にて開催されます。その中の分科会の1つが開催される予定地である、福岡県筑後市より筑後 YEG の9名の皆様方が12月9日、霧島 YEG へ単会訪問にお越し頂きました。霧島 YEG からも12名が参加させていただき、みやま本舗、Bar downにて交流を図り、全国大会への意識を高めて参りました。とんぼ帰りで筑後へ帰るハードスケジュールの中、最後まで本当にありがとうございました。筑後 YEG での分科会は、オリンピック競技にもなっているBMXの日本代表選手の競技を間近で見ることが出来る予定で、霧島 YEG も今からワクワクが止まりません!! 遠いところから、お越し頂きありがとうございました!!



第60回霧島国分夏まつり学生ボランティア交流会

大盛況に終わった、第60回霧島国分夏まつり。このまつりを陰で支える立役者が、第一工科大学学友会を主体とする学生ボランティアのメンバーです。前日準備から、当日のまつり運営、終了後のゴミ拾いまで、私たち青年部はこのメンバーにどれだけ助けられているのか、計り知れません。感謝の気持ちを込めて、10月20日に青年部と学生のBBQ交流会を、爆風の中の下井海岸にて行いました。参加者総勢43名で、最後の花火まで大盛り上がり! 来年への結束力を高める1日となりました。第61回霧島国分夏まつりもお楽しみに!!

女性部活動日記

県下合同研修会を霧島市で開催

去る11月15日(金)、第31回鹿児島県下商工会議所女性会合同研修会 in 霧島【主管：霧島商工会議所女性部(家村孝子会長)】を霧島市のホテル京セラで開催しました。

県内各地女性会から総勢約140名参加いただき、研修会講師に、霧島市にある藤山人工授精所 代表 藤山 粹氏と鹿児島工業高等専門学校 校長 上田悦子氏のお2人をお招きしました。藤山氏の研修会では、これまでの自身の経験や全国和牛能力共進会において内閣総理大臣賞受賞までの取り組みについて、畜産農家として、周囲より遅いスタートに、学ぶことを恐れず、プライドを捨て、知識・技術を深め、地元の同業者等の支えがあって、受賞に至ったと講義されました。そして、現在の業界に対する責任感・使命感の中、更なる目標に向かって邁進する藤山氏の姿に女性会員も感銘を受けました。上田氏の研修会では、校長として現在も研究・チャレンジを続けており、自身の経験も活かし、女性のリーダーシップを発揮し女性のキャリア再形成をサポートしていきたいと講義されました。会社経営において同様な立場である女性会員は大変刺激になりました。

研修会後は、中重市長をはじめ多くの来賓にご列席いただき交流会を開催しました。国分中央高等学校ダンス部のパフォーマンスでオープニングを飾りさまざまな余興で会場は大いに盛り上がり会員相互の交流を深めることができ、盛会裏に終了しました。



藤山氏の講演



上田校長の講演



女性部会員物産展の様子


 交流会を盛り上げていただきました
(左：英流 聖智乃会 右：傘クラブ 旭)



黒丸カレー加治木店

▶代表 西田嵐施
▶令和6年5月15日創業
始良市加治木町本町 252-1 イーストビル 102

☎090-4273-7394

[営] 11:00～14:00

[休] 水曜日

[P] 7台

[席] カウンター 9席

[個室] 無



Google map



Instagram

おすすめメニュー

ロースカツカレー

お店のPR

長時間煮込んだ牛スジと黒胡麻ペースト使用の黒カレー。口に入れた瞬間『甘いかも!? いや少しピリッとくる』同時に楽しめる絶妙に癖になる味をご賞味あれ! トッピングも王道からこれがトッピングであるの? など幅広いラインナップとなっております。ルウはおかわり無料です。

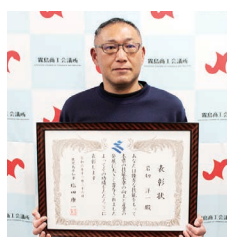


薩摩錫器の匠・岩切洋一氏、 鹿児島県知事表彰を受賞!

令和6年11月26日、「令和6年度鹿児島県職業能力開発促進大会」が開催され、薩摩錫器工芸館の岩切洋一氏が金属手仕上げで「鹿児島県知事表彰優秀技能者」に選ばれました。この表彰は、技能尊重の気運を高めるため、優れた技能を持つ職人を讃えるものです。

岩切氏は、薩摩錫器の伝統技術を継承し、地元産業の発展に貢献してきました。「技術をさらに磨き、霧島から伝統の魅力を発信していきたい」と語る岩切氏の姿勢は、地域の誇りであり、次世代に向けた大きな励みです。

本大会では、技能検定や競技大会で優秀な成績を収めた方々も表彰され、技能者の重要性が改めて認識される場となりました。



薩摩錫器工芸館 株式会社 (錫の殿堂 岩切美巧堂)

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央4-18-2
TEL. 0995-45-0177 FAX. 0995-45-3243
MAIL. kougeikan@satsumasuzuki.co.jp
営業時間 月～土 8:00～12:00/13:00～17:30
日 9:00～12:00/13:00～17:00

工業部会沖縄視察研修を実施

工業部会では11月18日から20日の3日間にわたり、今年度部会事業の一環として沖縄にて視察研修を実施しました。最先端施設や設備を使用した研究を行っている「沖縄科学技術大学院大学」、金型製造やXR技術を使用した教材開発などをされている「一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄」や食品関連、伝統工芸品など8つの大学及び企業を視察し、意見交換を行いました。

今回の貴重な体験を霧島商工会議所工業部会としてだけでなく、今後は霧島市そして鹿児島県として交流を深め国際的なダイバーシティの在り方を学び得るきっかけになればと願います。

